

インターバンクの声（2016 年 2 月 2 日）

やはり日銀のマイナス金利導入だけで市場のセンチメントを変えるのは難しいようだ。アジア時間は何とか週末の日銀効果が持続していたようにも見えたが、実際には週明けの欧米市場がどのような立ち上がりになるのかを待っていたに過ぎなかったのだろう。先週、一時噂になった石油輸出国機構（OPEC）内での減産合意の気配もないことで原油価格は安く、欧州株価の下落や米 ISM 製造業景況指数が 4 ヶ月連続して 50 を下回ったり建設支出の結果も弱いとあっては、ドルが再び売りモードに戻るのも止むを得ないところだ。ニューヨーク株が小幅安で引けたことや、米連邦準備制度理事会（FRB）のフィッシャー副議長の講演での発言が極端にハト派寄りにならなかったことで、何とか大幅な反落を回避できた格好でニューヨーク市場が終わった。今日のアジア時間は、上海株の動向やオーストラリア準備銀行（RBA）理事会の決定などが注目されるが、昨日は大幅上昇した日経平均がどう動くかが気掛りだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。